

2018年の予測

新聞5紙の元旦特集から今年を概観してみました。

今年は北朝鮮の脅威、中国の台頭、アメリカ政治の不透明、欧州の不安定など国際政治では不安材料が多い年ですが、一方で世界がますます一体化すると思われます。

① 今年に影響するのは新しい技術がITと繋がっていく

1) **5G(次世代通信技術)**—5G一次世代通信技術—は**現行の400倍の速度**で今年は商用化が始まる、今年はリアル空間での世界的競争が始まる、

2) **ドローン—空飛ぶコンピュータ**と呼ばれ5Gを使えば地球の裏側まで遠隔操作が可能



3) **AIスピーカー**アマゾンをはじめとしてインターネットに**言葉で指示**して食べ物を発注したり、掃除を実行させたりする装置で、将来一家に一台必要と予想される。

4) **遠隔現実**—ポケモンゲームで実証された作った画像と実際画像を融合した技術が現実に出てくる。例えば遠隔地に自分のロボットを張り付けてリアルに動かす。

② 人工知能があらゆる部門に影響する。

1) **AI と金融**—**仮想通貨**—当時一万円投資したら2000億円に、ビットコインは2000万倍になった、ブロックチェーンというデータ改ざんを不可能にした技術により信用を生み出した、南米ウルグアイが昨年11月「**e ペソ**」を発行した、**世界初の国家版の仮装通貨**だ、その他スウェーデン、中国、英国、オランダ、カナダも研究を進めている、無国籍の仮想通貨との競争に勝たなければ、自国通貨のシェアがどんどん低下してしまう、日本は**電子決済やキャッシュレス決済**の比率は韓国が9割に対して**2割**である、三菱UFJは現金に依存した社会は資金管理や決済での効率が悪く、デジタル技術の導入で生産性を高めねばならないという、



2) **AI とロボット**—失業問題、今後ロボットが多用されるにつれ、**失業問題**が出てくるとみられる。最低所得補償というベーシックインカムが論じられている。

3) **AIと自動運転**—世界が地球温暖化に対応したEV社会(脱酸素社会)に向け急速に電気自動車へ舵を切り出した。日本の自動車産業にとっての危機である。すそ野が広い為多くの中小産業が影響をうける。**中国が電気自動車へ急速に乗り出しているが日本は地球温暖化防止への対応が遅れている。**

4) **AIと家電**—IoTとインターネット—日本は家電の部品に特化して産業を維持していこうとしているが、インターネット家電に組み込む**IOT**の作りこみが緊急となっている。



③ 今後の対応



パンゲア大陸

1) **パンゲア**(ギリシャ語で超大陸、すべての大陸が繋がっている意味)

コロンブスが新大陸を発見(1492)以来 20世紀は空が近くなり、21世紀はインターネットが世界を縮めた、グローバリゼーションは少数の国が自国のやり方を世界に広めるものだが、各国が**所得の再配分**を怠った為、上手く機能しなかった、しかしグローバル化のお陰で通商産業や温暖化等の課題が見えて来た、その結果**中国がものを、インドが人**を世界に供給し始めた、

グローバルには情報と物、人と金の内、**情報とお金の流通解禁**が起き、企業のグローバル化が進み、専門性やノウハウのグローバル化や共有が進み、**国による分業**が進んできた、地球の裏側にいる人に遠隔操縦も可能となってきた、

少数の国が支配したグローバリゼーションが変わり**小さな国、小さな企業、個人がデジタルの境界を溶かしている**、移民への反感が強い欧州に「デジタル移民」を募る国がある、

エストニアは国外の人に自国民に準じた行政サービスを提供する**電子居住者制度**がある、そこに銀行口座も作れる、投資を呼びこみ経済を活性化させる、スイス北部のツークは起業家による仮想通貨を使った資金調達の世界の拠点になっている、ネットワーク上で示された事業計画書が評価されれば世界の投資家から早くお金が調達出来る、24億人が持つ**スマホのデータ通信量は2020年には2010年の400倍**になると見られている、持っているものが起こすグローバリゼーションの底流が変わり、持たざるもの、デジタルが発する発信力と行動力が既存の枠組みを変えていく**パンゲア**と言う1つの世界に繋がっていく、

2) **サイバー攻撃**—2017年5月あらゆる物がつながる IOT 社会の危うさが現れた、

世界 150 ヶ国を襲ったサイバー攻撃だ、日産自動車、英国の生産システム、ドイツの医療機関、日本の日立が被害を受けた、ウイルスに感染した IOT はハッカーに遠隔操作され、官公庁や大企業に被害を与えた。



3) **グーグルの検索**はユーザが欲しい**情報を 1 秒以内**で見つかる、facebook で(20 億 7 千万人)人との交流、ツイッターで(3 億 3 千万人)で誰でも世界に発信出来るようになった、ネットとスマホが繋がり多くのイノベーションが生まれた、スマホ上の QR コードで銀行の決済機能、

一方社会の変化—SNS—平成になって生まれた悩みがネットにまつわるものやだ、例えば facebook に友人と遊びに行ったと投稿すると、誘われなかった人が怒った、又投稿された写真を、見て自分と比べておちこんだ、友人と会話中にスマホのゲームに熱中する、

人材は地方企業が本気で異質の人材を、採用する気になるか、東京の大企業にいる人が地方で活躍する気になるかにかかってくる。



4) 日本は**縮み行く日本**—戦後二番目の好況の一方で人口減少、日本の生産性は米国の 2/3、日本はまもなく猛烈な人手不足となり、改革しやすい環境になりつつある。日本が安くて良いものを作るところから脱却して、**高く売るために何をなすべきか**を考えねばならない。日本の IT のシェアは 2 割から 1 割に落ちているので、5G を使って挽回したい、**5G と拡張現実(AR)と仮想現実(VR)、ロボット技術**で地球の裏側まで遠隔操作する技術を生かしていきたい、サイバー攻撃への守りを固め、新しいビジネスモデルを、作り出す姿勢が問われる、家計アプリのマネーフォワード社の社長はまず**眠ったままのデータを新事業にいか**に活用するかを考えるべきと言う、データ社会の第 2 幕

の到来に日本が波に乗れるかが問われている。

2018/1/3

上田 ヤマト✧